

成田市の英語教育

コミュニケーション能力の向上を目指して



担任の先生とALTのチームティーチング
(三里塚小・3年生)

市では、児童・生徒に聞く・話すなどの英語での実践的コミュニケーション能力の基礎を身に付けてもらうと、文部科学省に、市独自のカリキュラムを申請し「教育課程特例校」としての認可を受け、英語教育を行っています。



覚えた単語でカードゲームに挑戦(桜田小・1年生)



一人一人丁寧に指導(久住中・3年生)

教育課程特例校として独自のカリキュラムを

市では、「教育課程特例校」として独自の教育課程を編成し、英語教育を行っています。

小学校では、1年生から英語料の授業が実施され、児童は簡単な歌やゲームなどをしながら楽しく英語を学んだり、異文化に親しんだりしています。

中学校では、平成24年4月から、新学習指導要領が全面实施されたことに伴い、市では、標準授業時間を拡大し、教科書を使う授業のほかにも、スピーチやインタビューなど、話すこと・聞くことを中心とした実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標とした授業に取り組んでいます。

ALTとの授業で英語に親しむ

市では、全ての市立小中学校に外国人英語講師(ALT)を配置しています。学級担任や英語の担当教員とALTは、役割を分担しチームティーチング(TT)で授業を行っています。

授業で、児童・生徒はALTの話す英語を直接聞き、発音すること、英語のリズム・発音を自然

全国と成田市の英語の授業時間

	全国	成田市
小学1~4年生	なし	原則として20分の授業を週2回実施
小学5~6年生	年間35時間 (基本的には週1時間)	原則として20分の授業を週2回、45分の授業を週1回実施
中学生	年間140時間	年間155時間(1年生) 年間158時間(2・3年生)

に身に付けることができます。

日本や外国に興味・関心を持つように

市内の児童・生徒を対象に実施した平成21~23年度のアンケート調査によると、「英語の授業を受けることによって、どのようなところが変わってきたか」との質問には、「日本や外国の文化・生活に関心を持つようになった」「日本や外国の言葉に関心を持つようになった」と答える児童・生徒数が増加し、平成23年度には約半数になりました。

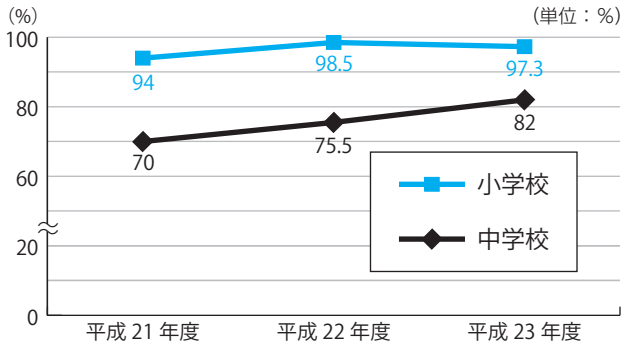
※くわしくは教育指導課(☎20・1582)へ。

アンケートの結果を公表

市内小中学校の児童・生徒を対象に、平成21～23年に行った英語教育に関するアンケート調査の結果をお知らせします。

Q.あなたは、英語の授業を楽しんでいますか。

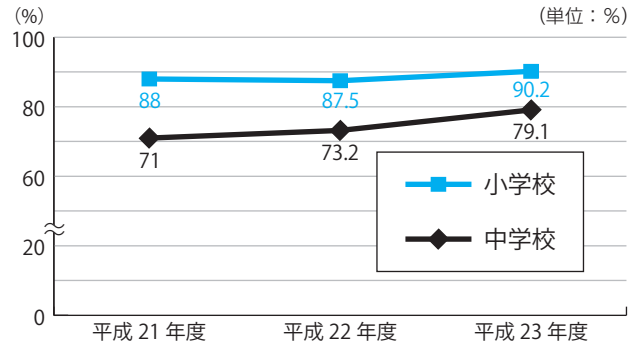
A.「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」と回答した児童・生徒の割合



中学校では、3年間を通して「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」と答える生徒が増えています。小学校でも、約97%の児童が「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」と回答しています。

Q.あなたは、英語の授業の内容がよく分かりますか。

A.「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した児童・生徒の割合



中学校では、「よく分かる」「だいたい分かる」と回答する生徒が増えています。また、小学生の約90%が、「よく分かる」「だいたい分かる」と回答しています。

市立小学校の英語科授業の流れ

桜田小学校1年生のある1日の英語科授業の様子を見てみましょう。

①あいさつ

授業の始まりに英語で大きな声であいさつをします。



I'm fine. (私は元気です)

②ウォームアップ

音楽に合わせて歌ったり、英語のリズムを楽しんだりします。



リズムに合わせて手拍子

④アクティビティ

新しく覚えた表現を使ったゲームや日常の場面を設定した体験活動を通して、英語を使ったコミュニケーション活動を行います。



色・数字を使ったいす取りゲーム

③プレゼンテーション

担任の先生とALTの英語の会話を聞き、イラストを見て、新しく学ぶ表現を学習します。

実際の英会話の内容(意識)

A: How many books? Let's count!

(本は何冊? 数えましょう!)

B: One, two, three, four...Four books.

(1、2、3、4...。4冊です。)



担任の先生とALTの会話をよく聞いて



自信を持って言ってみよう

⑤あいさつ

終わりのあいさつをします。